

令和7年度

学校関係者評価報告書

大阪市立鶴橋幼稚園

1. 総括についての評価

本年度の幼稚園の自己評価結果は概ね妥当である。年度目標に沿って年間計画をたて着実に実践することができている。様々な人とのかかわりを大切に、また教職員全員で協力体制のもと、保育活動の充実につなげている。保護者アンケートの結果からも達成しているのが分かった。

2. 年度目標ごとの評価

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

学校園の年度目標

○令和7年度末のアンケート調査で、約束やきまりを守って生活するようになった人とする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合85%以上を維持する。

・安全に生活するための約束や決まりを知り、守ろうとする子どもを育てる。

○令和7年度末のアンケート調査で、人との関わりを深め、思いやりの気持ちが育ったとする項目について「そう思う」「ややそう思う」を回答する保護者の割合を85%以上を維持する。

・身近な人との関わりを通して、親しみを深め、思いやりの気持ちを育む。

- ・達成状況の評価に関しては妥当である。
- ・年間を通して避難訓練を実施し、回数を重ねるうちに子どもたちの意識もかわってきたのではないかと感じる。また隣接する小学校への避難ということで安心感にもつながっていると思われる。
- ・保護者と一緒に掃除をすることで子どもたちも楽しみながら取り組める。身の回りを整えることや物を大切にしようという気持ちが育ったと感じる。
- ・他園、異校種、地域との交流活動を継続的に行ったことで、様々な人との関わりをもつことができたと感じられる。様々な人と関わって優しい子どもたちに育っている。今後も、地域としても惜しみなく協力していきたい。
- ・日常的に異年齢でのつながりを大事にしながら園児同士の関わりも深めてほしい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、幼稚園は豊かな経験を通して、感性豊かな子どもの育成に努めているとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合85%以上を維持する。

・自分なりに表現しようとする子どもを育て、自己肯定感を育む。

- ・達成状況の評価に関しては妥当である。
- ・今年度は外国籍の子どもが多いということで対応に苦慮したこともあったが、日々の教職員の関わりによって園生活を楽しむ姿につながった。幼稚園に楽しんで通っている姿を見ることで保護者も安心して任せている。
- ・子どもたちの実態に応じて、また興味に即して表現活動を工夫して取り入れていることから、どの子どもも

自分なりの表現が生き生きとできているのではないか。そこには、教職員の努力や周りの友達の影響も大きいと感じる。

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、自分の身体を大切にして健康的な生活習慣を身につけるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合85%以上を維持する。

・基本的な生活習慣を知らせ、身につくようにする。

- ・達成状況の評価に関しては妥当である。
- ・計画的に保健指導を行う中で、健康に生活するための知識を身につけることができたと感じる。養護教諭という専門的立場で家庭との連携を図りながら、他の教職員と共有して継続して指導を行うことができていると感じる。和式トイレの使い方を知らせる機会を設けているのは現代の子どもたちの経験としては貴重だと思う。
- ・家庭環境が様々であり、文化の違いもある中、基本的な生活習慣が身につくように指導するのは難しさはあるようだが、相互理解を深めながらその国や家庭の考えも尊重しつつ、就学につながるように啓発をしていると良い。
- ・苦手意識のあるものにも挑戦しようという姿が見られたのは野菜チャレンジデーの成果であると思う。

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合85%以上を維持する。

・体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てる。

- ・達成状況の評価に関しては妥当である。
- ・運動会での子どもたちの姿を見て、普段から様々な運動遊びを経験してきたことが分かった。
- ・広い園庭を存分に活かして、いろいろな運動遊びの経験ができるように今後も保育活動を計画してほしい。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○令和7年度末のアンケート調査で、幼稚園は保護者・地域との連携を密にとっているとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上にする。

・家庭や地域に幼稚園の取組内容を知らせる。

- ・達成状況の評価に関しては妥当である。
- ・手紙やホームページなど多様な方法で園の情報発信ができています。
- ・今の幼稚園の現状は多国籍で多文化共生教育となっている良さをアピールしていくのも良い。生野区ならではの良さでもあると思う。

3. 今後の学校運営についての意見

防災・防犯への意識を高め、子どもの安全を第一に今後も訓練を続けてほしい。

また、少人数のよさや、多文化共生教育での育ちを強みと捉えて、保育活動に取り組んでほしい。今後も、幼稚園内外の様々な人との関わりを大切にしながら、親と子が共に育っていけるように幼稚園づくりを目指してほしい。